

# テレビ&オール電化ハウスでさらなる飛躍へ

## オノデン

(札幌市中央区) 小野寺 省吾社長

小寺支社長は「札幌地区の1号店として新装オープンした今日を第二の創業日として位置付け、オール電化を力強く推進し、持続成長を力強く推し進めたい」と話している。

## 札幌1号店 店売り重視、展示を充実 独自の営業手法 新規開拓 徹底

オノデン(札幌市中央区、小野寺省吾社長)はこれほど、テレビ&オール電化(T&A)ハウスとして新装オープンした。北海道内では3店目だが、道央圏としては初めてで、札幌市を中心とした圏内での普及拡大が期待される。



小野寺 社長

オープンニング式典には、パナソニックコンシューママーケティングL&L北海道・東北社の小寺達北海道支社長、SPS推進グループの佐藤彰洋グループマネージャーら販社幹部が駆け付け、新たなオープンを祝福した。



オール電化を推進し持続成長を目指すオノデン

「施工会社などグループ会社2社を持つ。ほくでんサイエンスの「エコ電化協力店」にも指定されている。小野寺社長は「今の営業スタイルは、効率を求めて15年前にたどり着いた。今回の新装オープンを機会に、店舗を活用し、地域に密着した、お客さまのニーズに細やかに対応できる店作りをしたい」と抱負を話している。

「長い実績から、太陽光発電システムの買い替えや、今夏はエアコンのフラグシップ機の売上げも伸びている。「お得意さまを大切に、新規開拓も忘れずに徹底してやっていきたい」と、施工部隊を持つ強みを発揮し、オール電化やリフォーム事業を展開している。

「NFTD(東北東北支社)は、ギャラクシースなどの各種スマートフォンを中心に業務用途で訴求。「iコンシェル提供サイト」はケータイクーポンを発行できるサービスで、月額600円で中小・個人商店でも利用できる点をアピールした。バイスリープロジェクトは、画像認識システムを出展。日本ナショナルインスツルメンツのLabVIEW Wを利用し、自動車部品製造ラインの目視検査を画像処理により自動化するデモなどを行った。産学連携では、自動車の完成検査(塗装など)の自動化も研究している。

## 商圈拡大へ技術力PR

### ビジネスマッチ東北200 仙台に700人 LED照明/360団体・348ブース

「仙台」ビジネスマッチ東北2010が、仙台市宮城野区の夢メッセみやぎで開催された。8ジャンントで、今回で5回目。主催は東北ニュービジネス協会など。約7千人を動員した。



首都圏からのバイヤーなど7000人が参加した



アイリスオーヤマは直管形など各種LED照明を展示

9平方メートル、4055台の駐車スペースを持つ。今年12月下旬に着工し、開店は来年6月2日を予定している。

仙台市内には、ほかにケースデンキ、ベスト電器、隣接した釧路町に3Qグループの100満ボルトが既に開店しており、人口18万5千人の都市がアナログ停波後に向けて、北海道内でも一気に激戦区化する。